



主催：N P O 法人築地居留地研究会

次回研究会のご案内

「外国人居留地と近代警察」

～維新の志士たちによる近代警察の創設～

幕末の開国に伴い、窓口となる外国人居留地周辺では攘夷運動による外国人殺傷事件が多発し、対応が遅れた幕府に対し、英・仏軍隊が横濱居留地に上陸、近辺で居留民保護のパトロールが行われることになった。維新後、新政府は、英・仏軍隊の撤退を実現するため、神奈川県知事陸奥宗光等の維新の志士により、イギリス型近代警察「巡卒」が明治4年に創設される。

「巡卒」制度は、全国警察の基準として明治8年から昭和22年までの日本警察の基本法「行政警察規則」の基本となり、現在も「交番拠点のパトロールによる地域住民の保護」として活き続けている。なお、維新後設置された築地居留地は、幕府以来の外国人保護専門の「別手組」（後に「巡卒」）が護衛し、偽官軍強盗等により治安の乱れた東京府内では最も安全な場所でもあった。



日時：平成28年11月26日（土）14：00～16：00

場所：聖路加臨床学術センター3303号室 中央区築地3-6

講師：鈴木康夫 横浜外国人居留地研究会会員、
警察政策学会員（警察史部会）

参加費：無料

明治元年4月当時の横浜外国人居留地の閑門



巡査吏卒



巡卒



講演会終了後、講師を囲んでの茶話会を行います。 茶話会参加費：¥500

茶話会会場：聖路加国際大学601号室 連絡先 03-3551-7595

【聖路加臨床学術センター】 SLCCA

〒104-0045 東京都中央区築地 3-6

<http://www.luke.ac.jp/>



【地下鉄】

- ・ 東京メトロ日比谷線築地駅下車（3, 4番出口）徒歩 5 分
*エレベーターは 2 番出口にあります。
- ・ 東京メトロ有楽町線新富町駅下車（6番出口）徒歩 7 分
*エレベーターは 1 番出口にあります。

【バ ス】

- ・ 東15番—東京駅八重洲口 深川車庫行 聖路加病院前下車

☆公共交通機関にてご来場ください。